

広報

2025 No.49

なが119

NAGA FIRE DEPARTMENT



P2.3

特集

那賀消防組合業務開始50周年!

P4

マイナ救急実証事業を実施します!

P5

ご存じですか?「感震ブレーカー」・全国消防救助技術大会出場!!

P6.7

消防ホットニュース・消防白書・ニューフェイス誕生

P8

令和7年度防災ひとづくり事業各部門優秀賞受賞者・作品紹介
業務開始50周年記念式典及び消防出初式案内・消防プレゼントクイズ

●特集●

「災害に強い安全で 安心して生活できるまちづくり」

を目指して50年!!



那賀消防組合は昭和50年から業務を開始して、今年50周年を迎えることができました。

これも市民の皆様のご理解とご協力によるものと深く感謝いたします。

この50年の間に、消防を取り巻く環境も大きく変化しており、消防業務の多様化や高度化、救急出動件数の増加など、常に新たな対応が求められております。また、自然災害の大規模化や南海トラフ地震の脅威も迫り、防災力を強化する必要があります。このような状況の中、さらなる防災力の強化を重点目標に置き職員一丸となって努力し、市民の皆様と共に「災害に強い安全で安心して生活できるまちづくり」を目指してまいりますので、今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。

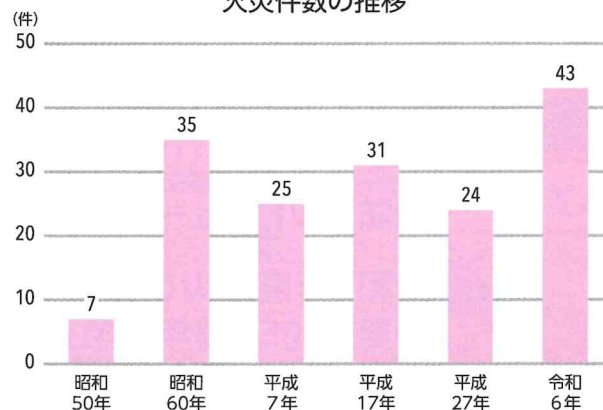
なお、50周年を記念し、令和8年1月11日（日）に開催される消防出初式にあわせて、業務開始50周年記念式典を「紀の川市民体育館」で実施いたします。

地域の皆様と共に歩んできた50年を振り返り、これからの防災・消防活動への想いを新たにする一日となるよう、準備を進めておりますので、多くのご来場をお待ちしております。（ご案内は最終ページをご覧ください）

救急出動件数と職員数の推移

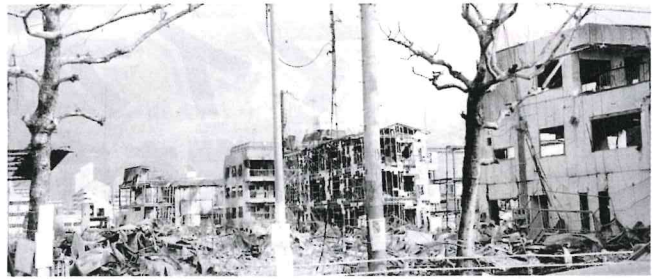


火災件数の推移



50年間の主な災害

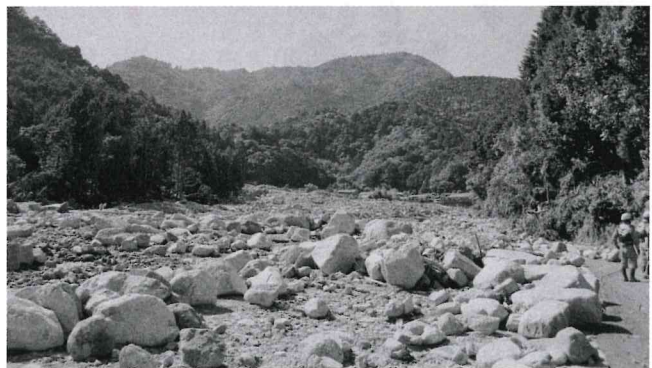
- 1984.9 長野県西部地震 (M6.8)
- 1993.1 釧路沖地震 (M7.5)
- 1993.7 北海道南西沖地震 (M7.8)
- 1994.10 北海道東方沖地震 (M8.2)
- 1994.12 三陸はるか沖地震 (M7.6)
- 1995.1 兵庫県南部地震 (M7.3)
震災に伴い兵庫県へ応援出動
- 2000.6 三宅島の噴火に伴う群発地震
- 2001.3 芸予地震 (M6.7)
- 2003.9 十勝沖地震 (M8.0)
- 2004.10 新潟県中越地震 (M6.8)
- 2005.3 福岡県西方沖地震 (M7.0)
- 2007.3 能登半島地震 (M6.9)
- 2007.7 新潟中越沖地震 (M6.8)
- 2008.6 岩手・宮城内陸地震 (M7.2)
- 2008.7 岩手県沿岸北部地震 (M6.8)
- 2009.8 駿河湾地震 (M6.5)
- 2011.3 東北地方太平洋沖地震 (M9.0)
震災に伴い緊急消防援助隊として宮城県へ出動
- 2011.9 紀伊半島豪雨
災害に伴い那智勝浦町へ応援出動
- 2015.7 平成 27 年台風 11 号
- 2016.4 熊本地震 (M7.3)
- 2017.10 平成 29 年台風 21 号
- 2018.6 大阪府北部地震 (M6.1)
- 2018.7 平成 30 年 7 月豪雨
災害に伴い緊急消防援助隊として広島県へ出動
- 2018.9 平成 30 年台風 21 号
(関西国際空港の連絡橋にタンカーが衝突)
- 2018.9 北海道胆振東部地震 (M6.7)
- 2021.2 福島県沖地震 (M7.3)
- 2022.3 福島県沖地震 (M7.4)
- 2023.5 石川県能登地方地震 (M6.5)
- 2023.6 線状降水帯による被害
(和歌山県で初めて線状降水帯発生)
- 2024.1 能登半島地震
震災に伴い緊急消防援助隊として石川県へ出動



兵庫県 南部地震



東北地方 太平洋沖地震



紀伊半島豪雨



平成 30 年 7 月豪雨



能登半島地震



マイナ救急 実証事業を実施します！



～もしもの時に備えてマイナンバーカードを持ち歩きましょう～

マイナ救急実証事業は、救急隊が傷病者のマイナンバーカード（健康保険証として利用登録済みのもの）を活用し、オンライン資格確認等システムから搬送先医療機関の選定等に役立つ情報を入手することで、救急業務の迅速化や円滑化を図ることを目的としています。

マイナ救急の活動内容

119番通報時



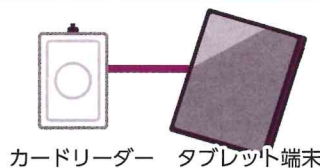
指令員が通報者に対してマイナ保険証の準備を依頼

救急隊到着時



傷病者の同意を得て、マイナンバーカードを使用しオンライン資格確認等システムにアクセス、必要に応じて搬送先医療機関へ伝達

※マイナ救急は暗証番号や顔認証は不要です



カードリーダー タブレット端末

病院到着



マイナ保険証を活用すると…

あなたの
病歴

お薬の
処方歴

病院の
受診歴

正確な情報を
伝達可能に

※上記以外に氏名、生年月日、住所、特定健診等の情報を閲覧

- ・傷病者の負担軽減になる
- ・より適切な応急処置ができる
- ・円滑な救急搬送が行える
- ・病院での事前準備につながる

実施期間

令和7年(2025年)10月頃から令和8年(2026年)3月31日まで

実施範囲

那賀消防組合の全救急隊

市民の皆さまへのお願い

この実証事業の効果を最大限に発揮するためには、市民の皆様のご協力が不可欠です。

- ・マイナンバーカードを取得し、健康保険証として利用登録をお願いします。
- ・外出の際は、マイナンバーカードを携帯していただくようお願いします。
- ・救急要請の際は、マイナンバーカードをすぐに掲示できるよう準備をお願いします。

詳しくは、下記 URL または、QR コードからご覧になれます。

総務省消防庁

<https://www.fdma.go.jp/mission/enrichment/mynakyukyu/mynakyukyu.html>

那賀消防組合ホームページ <http://www.nagal19.gr.jp/>

総務省消防庁



那賀消防組合HP



「感震ブレーカー」

地震による火災の過半数は電気が原因となっています。

東日本大震災における火災111件の内、原因が特定されたものは108件でした。その中の54%が電気関係による火災です。

地震が引き起こす電気火災とは、地震の揺れに伴う電気機器からの出火、停電が復旧した時に発生する火災のことです。

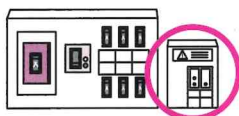
電気火災対策には感震ブレーカーが効果的です。感震ブレーカーとは、地震発生時にブレーカーなどの電気を自動的に止める器具です。

避難経路の確保のために建物の耐震化、家具の固定などの耐震対策と合わせて取り組むと非常に効果的です。

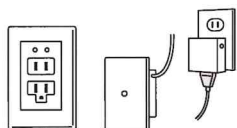
主な感震ブレーカーの種類



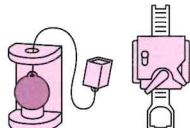
分電盤タイプ(内蔵型)



分電盤タイプ(後付型)



コンセントタイプ



簡易タイプ

感震装置のはたらき【分電盤タイプの場合】

基本動作

地震探知後、3分が経過すると、主幹漏電ブレーカーを自動遮断します。

地震検知

警報 ON(3分間)

通電

検知から3分後

警報 OFF

通電遮断

地震探知後3分以内に
停電が発生した場合

復電直後に主幹漏電ブレーカーを
自動遮断します。



▲ 全国大会へ出場した選手

◀ ロープ応用登はん



▲ 引揚救助



▲ 障害突破



▲ ロープブリッジ救出

第53回全国消防救助技術大会出場に向けて、第53回和歌山県消防救助技術会が6月13日(金)に県消防学校において開催されました。県内17消防本部から消防職員約200名が出場し、個人、団体合わせて7種目が実施されました。

当消防本部からは、ロープ応用登はんに出場した山崎消防副士長と明渡消防副士長のペアが見事優勝を果たし、全国大会出場を決めました。さらに、障害突破(5名)、ロープブリッジ救出(4名)及び引揚救助(5名)の3種目が、7月25日(金)に京都市で開催された第53回消防救助技術東近畿地区指導会へ和歌山県代表として出場しました。

全国消防救助技術大会出場!!

消防ニュース

★中消防署に搬送車を配備しました

中消防署に新しく搬送車が配備されました。この搬送車は、クレーンを搭載した車であり、人力では載せることができない資機材も積載することが出来ます。また、荷台スペースも広いため、多くの資機材を搬送することが出来ます。さらに荷台にカバーを取り付けることで積載品を雨風から保護することができ様々な災害に対応することが出来る車両となっています。



★潜水隊訓練を実施しました

潜水隊に必要な知識及び技術の向上、若手隊員の育成を目的に、和歌山県消防学校の屋外プール（水深4.5m）を借用して訓練を実施しました。

訓練内容は、スキンスキ（器材を使用せずに水中での呼吸を管理する潜水技術）、重器材取り扱い、環状検索、最後は水平インターバル2分を計5回実施し個人の体力の限界に挑戦しました。

現在潜水隊長以下15名の隊員が潜水隊として活動しています。迅速に活動できるように、年間を通して訓練しています。



★阪和自動車道防災訓練を実施しました

2月18日（火）、岩出市民総合体育館駐車場において、阪和自動車道防災訓練を実施しました。

この訓練は阪和自動車道での災害発生時に各関係機関の連携体制の強化に努め、有効な消防活動を遂行することを目的に実施し、和歌山県下8消防本部、和歌山県警察本部、西日本高速道路株式会社などが参加し、緊急車両13台、隊員46名が訓練を実施しました。



管内消防白書

●火災のようす

令和6年中の紀の川市、岩出市で発生した火災は43件で、火災損害額は9千226万2千円でした。

これを前年と比較すると、火災は4件減少、損害額は1千721万3千円増額しました。火災種別では、建物火災24件、車両火災2件、その他火災17件となりました。次に、火災原因別に見てみると、電気火災が7件、たき火が7件となっています。人的被害は死者2名、負傷者4名でした。

火災17件となっています。

統計上の火災件数は43件ですが、ひとつ間違えれば火災となる軽微な災害への出動が124件ありました。



●令和6年中 火災出動件数

		紀の川市	岩出市	合計
	件数	16件	8件	24件
建物	焼損面積	939㎡	198㎡	1,137㎡
	件数	0件	2件	2件
車両	焼損車両	0台	2台	2台
	件数	13件	4件	17件
その他	焼損面積	3,313㎡	1,514㎡	4,827㎡
	件数	29件	14件	43件
計	損害金額	85,809千円	6,453千円	92,262千円



これからの季節、火を取り扱う機会が多くなると思いますが、火の元には十分な注意をお願いします。

那賀消防組合 ニューフェイス4人誕生



大切な子どもたちの命を救うため、幼稚園、保育所（園）、こども園、小中学校の職員を対象とした救命講習会を5月8日（木）、9日（金）に行いました。突然のケガや急病に備え、心肺蘇生法や止血法などの知識や技術の取得を目指して熱心に取り組みました。

この講習会は毎年行っていますが、多くの職員の方に参加いただいています。



★かけがえない命を守るために

★他機関の敷地を借用した訓練を実施しました

中消防署は、近畿大学生物理工学部の協力のもと、敷地を借用して訓練を実施しました。多種多様な災害現場に対応するうえで、自署の訓練施設以外の場所で訓練を実施することは隊員並びにチームのスキルアップに繋がります。



「施設若しくは敷地を活用しても良い」と言っていただけの事業所は、那賀消防組合消防本部警防課まで（0736・61・1793）ご連絡ください。よろしく願いいたします。

右から名前を紹介いたします。

★南方 皓成

市民から信頼される消防士を目指し、責任を持つて頑張ります。

★松浦 昂太郎

地域に貢献できるよう精一杯頑張ります。

★高田 晴空

市民の方々から信頼される消防士になれるように精一杯頑張ります。

★羽端 唯人

市民のみなさまの安心と安全を全力でお守りします。

●救急・救助のようす

令和6年中の紀の川市・岩出市の救急出動件数は、6,140件で、1日平均約17件出動しました。市別によると、紀の川市3,391件、岩出市2,749件となっています。搬送した人員は、5,818人でした（左表参照）。

次に、救助出動件数は123件で前年と比較して10件減少し救出者数は56人でした。

		軽症	中等症	重症	死亡	合計(人)
	救急搬送人員	1,852	1,527	265	112	3,756
急病		318	82	20	3	423
交通		525	289	145	8	967
一般		172	365	119	16	672
その他		2,867	2,263	549	139	5,818
合計						

●救急搬送傷病程度
(中等症・3週間未満の入院が必要、重症・3週間以上の入院が必要)

		紀の川市	岩出市	管外	合計
	救助出動件数	20	11	0	31
交通		13	6	0	19
火災		13	19	0	32
建物事故		24	17	0	41
その他		70	53	0	123
合計					

●市別救助出動件数

■病院案内

日曜、休日等に診療が可能な医療機関等を次に記載してありますので切り取ってご利用ください。

▼和歌山県救急医療情報センター
Tel 073・426・1199
24時間体制で最寄りの医療機関を案内します。

▼那賀休日急患診療所
Tel 0736・77・6410
日曜日、祝日及び年末年始診療可
午前9時～正午、午後1時～午後5時

▼和歌山市夜間休日 応急診療センター
Tel 073・425・8181
土曜日 午後7時～翌午前6時
日曜日 午前10時～正午
午後1時～午後5時
午後7時～翌午前6時

▼子ども救急相談ダイヤル
Tel 073・431・8000
平日 午後7時～翌朝9時
土・日・祝日 午前9時～翌朝9時
専門の看護師が相談に応じます。

▼和歌山市歯科休日 応急診療センター
Tel 073・428・3588
休日 午前10時～正午
午後1時～午後3時

※問い合わせは
119番を使用せず、一般加入電話
Tel 0736・61・1791
(通信指令室)
にかけるようお願いいたします。



令和7年度 防災ひとづくり事業
「写生画・ポスター」
標語・意見発表
優秀賞受賞者
子ども防災博士
意見発表会の部

消防車・救急車写生画の部

★優秀賞
東貴志小学校 植本 奈々
根来小学校 林部 穂
上岩出小学校 松岡 咲愛

★最優秀賞
岩出小学校 上谷 理

★優秀賞
田中小学校 高岸 咲希

★最優秀賞
愛の光幼稚園
あおば幼稚園
上岩出保育所

★優秀賞
波部 文香
御前 紗
伊田葡乃華

★最優秀賞
さくら保育園
川口 紗奈

★優秀賞
紀の川市 笠松 美穂
紀の川市 山田 健史
和歌山市 中口 浩一

★最優秀賞
岩出市 松下 凜

★優秀賞
長田小学校 橋口 恭沙

★最優秀賞
紀の川市 笠松 美穂
紀の川市 山田 健史
和歌山市 中口 浩一

★優秀賞
たぐさんの
ご応募をいただき、
ありがとうございました！

★優秀賞
火の用心
未来へ受けつぐ
合言葉

★優秀賞
家族で
話し合おう

★最優秀賞
かけがえない命を
守るために

消防プレゼントクイズ

本誌を読んで〇〇に当てはまる言葉と、住所、氏名、年齢、電話番号、ご意見、ご感想を官製はがきにご記入の上、左記へお送りください。正解者の中から抽選により20名様に景品を差しあげます。

問題 那賀消防組合は〇〇周年を迎えました

●応募先
〒649-6215 岩出市中迫154番地 那賀消防組合(防災センター)

●応募締め切り
令和8年1月31日(土)(当日消印有効)

発表は景品の発送をもって、かえさせていただきます。

※ご応募いただいた内容については那賀消防組合で適切に管理し、第三者に開示することはありません。

那賀消防組合業務開始50周年記念式典のお知らせ

～ 令和8年消防出初式と同時開催 ～

地域の皆様と共に私達のまちの「安全・安心」を支え続けてきた那賀消防組合が、令和7年に50周年を迎えました。これを記念し、令和8年1月11日(日)に開催される消防出初式にあわせて、業務開始50周年記念式典を実施いたします。

当日は、出初式の伝統的な式典や一斉放水などに加え、50年間の写真展示や各種体験コーナーなど、地域の皆様に楽しんでいただける企画をご用意しております。子どもから大人まで、那賀消防組合の歴史と役割を知り、防災意識を高める機会として、ぜひご参加ください。

★と き 令和8年1月11日(日)

○消防フェア 午後0時から(予定) (雨天時、縮小)

○業務開始50周年記念式典及び出初式 午後1時30分から(予定)

★ところ 紀の川市花野 紀の川市民体育館

